

新ひだか町から持ち去られた アイヌの遺骨について 知る、感じる、考える。

上映 × 朗読 × 講演



講演「新ひだか町でのアイヌ遺骨持ち去りの背景と今後」
植木哲也(苫小牧駒澤大学教授)

第51回北海道新聞 文学賞 佳作(2017年)

朗読「痛みのペンリウク 囚われのアイヌ人骨」(抜粋)
お話し 土橋芳美 朗読 嘉藤師穂子

短編ドキュメンタリー映画 (25分/2017年)

上映「八十五年ぶりの帰還 アイヌ遺骨杵臼コタンへ」
製作コタンの会・北大開示文書研究会 監督 藤野知明

とき **4月22日(日)13時開演**(12時30分開場) (15時30分終了)

ところ **新ひだか町地域交流センター
ピュアプラザ2階**

新ひだか町静内御幸町2丁目1番40号 TEL : 0146-45-0090
施設内に駐車場有ります

資料代 **300円**

主催 コタンの会 お問い合わせ 090 - 9517 - 4351 (清水)



まず はじめに

1956年、旧静内町(現新ひだか町)「駅前墓地」廃止・墓地改葬にともない、和人の遺骨は町内の駒場共同墓地に改葬されましたが、161体のアイヌの遺骨は旧静内町の依頼により北海道大学医学部によって掘り起こされ、持ち去られました。同様に1972年、旧静内町「豊畑共同墓地」改葬により、33体のアイヌの遺骨が、北大医学部によって持ち去られました。

現在、新ひだか町から持ち去られたアイヌの遺骨は北大内の「アイヌ納骨堂」に置かれていますが、全国の大学、研究施設にある他の千数百体のアイヌの遺骨とともに、白老で建設中の慰霊施設に集めらる計画になっています。一方で札幌医科大学で保管されていた115人分のアイヌ遺骨を利用し、山梨大学で骨の破壊をともなうDNA研究がすでに行われています。

こうしたなか、2016年から裁判を通して浦河、浦幌、紋別の各コタンへの遺骨返還が行われ、79人と82箱の遺骨が故郷の土に還っています。墓から持ち去られた先人の遺骨はどうあるべきか、考えてみませんか？

講演「新ひだか町でのアイヌ遺骨持ち去りの背景と今後」 苫小牧駒澤大学教授 植木哲也



植木哲也さんは研究者によるアイヌ墓地の掘り起しの事実とその背景について調べ、本にまとめています。

『学問の暴力 アイヌ墓地はなぜあばかれたか』

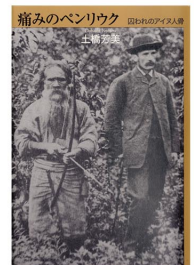
「江戸末期、犯罪として裁かれたアイヌ墓地発掘は明治以降、『学術調査』の名の下に公認され、アイヌ民族の抵抗は無視され続けた。小金井良精、児玉作左衛門など代表的アイヌ学者たちの動きを追い、学問に内在する『暴力への意志』を浮き彫りにする」(「BOOK」データベースより)

2008年初版。新版を2017年に春風社より刊行。

「痛みのペンリウク 囚われのアイヌ人骨」 土橋芳美著 草風館刊

本の表紙の写真は平取コタンのコタンコロクル(首長)、平村ペンリウクさんと宣教師のジョン・バチェラーさんです。ペンリウクさんの死後、その遺骨は1933年に北大の研究者に掘り出され、持ち去られました。2016年に遺族である土橋芳美さんは北大にペンリウクさんの遺骨の返還を求めましたが、現在に至るまで返還されていません。

「あるときからペンリウクさんの声が聞こえるようになった。いや囚われのアイヌ人骨の多くから声をかけられた気がしたのである。そう気づいた私は涙とともにペンを持ち、この時代、この場に居合わせた者としての思いと証言を残すべきだと考えた。(著者あとがきより)



「八十五年ぶりの帰還 アイヌ遺骨 杵臼コタンへ」 短編ドキュメンタリー映画



1931年、形質人類学の研究目的で北海道大学医学部の研究者が浦河町、杵臼共同墓地からアイヌの遺骨を持ち去りました。2012年、アイヌのエカシとフチが持ち去られた先祖の遺骨について話し合うため、北海道大学の総長に面会を求めたが...

アイヌとして生き、一度はコタンの地に眠った12人の祖先の遺骨を取りもどし、新たにクワ(墓標)を立て、アイヌプリ(アイヌの流儀)で再び埋葬するまでのドキュメンタリー。(25分/2017年) 製作 コタンの会/北大開示文書研究会 監督 藤野知明

コタンの会とは？「コタンの会」は次の3つの役目を果たします。

- 北海道大学および全国の大学その他から返還されるアイヌ遺骨を、それぞれの地元を受け入れます。また受け入れたアイヌ遺骨の再埋葬地を管理します。
- 再埋葬した遺骨に対して、アイヌプリ(アイヌの流儀)による慰霊を定期的に行ないます。
- アイヌが古来もっている権利＝「先住権」について学び合いの場をもうけます。とりわけ日高地方各地でコタンを復活/再生させ、先住権の回復に努めます。



浦河町 杵臼コタンに返還された12人の先祖を再埋葬する際にコタンの会主催でカムイノミをとり行いました。(2016年7月)

コタンの会では日高地方のアイヌの方々参加を募っております。ご興味ある方は下記までご連絡下さい。

TEL 0146-42-4793 (高月)